

# 授業改善書

科目名	教育課程論
担当者	渡邊光雄

## 授業の概要

授業の目的は、幼稚園及び小学校の「教育課程」について、就学前教育を踏まえながら、その成り立ち及び性質などを理解することにある。

授業内容は、国の定める「教育課程の基準」に従って扱われる教育内容が子どものどのような能力発達状態を踏まえ、どのような枠組みすなわち「シーケンス」及び「スコープ」で構成され得るのか、そして、どのような題材のコンテキストで構成されるのか、ということを中心にして展開される。

## 授業の問題点

本授業は、幼稚園及び小学校の教員資格取得希望者を中心とした受講生を対象にしているが、受講生各人の学習意欲には大きな差がある。学習意欲の乏しいままに単位取得に必要な最低授業出席回数の充足のみを念頭においた学生から、教員資格取得のための本授業の内容を十分に理解することを念頭においた学生まで、受講生の学習意欲の程度の差は大きい。

本授業には、文部科学行政・教育課程行政における教員養成課程授業の「質保証」を保ちながら、学習意欲の高い学生と共に、最低授業出席回数の充足のみを念頭においた学生をもひきつけるような内容の展開に欠けるところがある。その点が本授業の問題点として挙げられる。

この問題点は、2クラスで行われる本科目のうちの70名をこえるクラスにおいて顕著に見られる。70名をこえるクラスにおけるこの問題点は、教室環境によってはより増幅されることになり、授業の展開のあり方のみでは解消され難い側面をも有する。

## 授業改善の課題・方策

### ○授業改善の課題

教員資格取得のための本科目は、文部科学行政・教育課程行政における教員養成課程授業の「質保証」を保ちつつ、学習意欲に大きな差のある受講生への多様な動機づけを組み入れることのできる授業展開を繰り広げなければならないところに、授業改善の課題を有する。

### ○授業改善の方策

上記の課題に対する方策としては、まず、受講生の学習意欲の程度の大きな差に配慮した授業内容の構成が求められるが、文部科学行政・教育課程行政における教員養成課程授業の「質保証」確保に縛られた授業内容構成は、結果的に、学習意欲に乏しい受講生への配慮を制約したものにならざるを得ない。この「質保証」確保に縛られることのない授業内容構成であれば、学習意欲に乏しい受講生への配慮をより重視したものを考えることもできる。

教員養成課程授業の「質保証」確保に縛られた授業の展開について、学習意欲の程度に大きな差のある受講生全体に均等に対応し得る授業展開を遂行するために、70人をこえるクラスであればそれを二つに分けた30～40人のクラスを複数設け、それによって、上記の課題を考えることができる。

なお、本科目に関しては、主に、幼稚園および小学校の教員資格取得を希望する学生を主対象にした授業内容が構成されているが、現在の文部科学行政は小学校段階の前に幼保連携型認定こども園と幼稚園を並置して運用されているところから、「保育課程」と「教育課程」に分けた新たな授業科目あるいは授業クラスを設けた上で、授業改善の方策を考えることもできるであろう。

## その他

本学では、幼稚園と小学校の教育課程を内容とする本科目が保育士資格取得のための必修科目になっている。また、わが国では、幼保連携型認定こども園と幼稚園を並置した幼児教育行政が施行されている。この状況を鑑み、「保育課程」あるいは「養護とそれに一体化した教育の課程」を内容とする授業科目を設け、その授業科目を現在の「教育課程」(本科目)に代え、それを本学の保育士資格取得のための必修科目にすることが考えられる。この授業科目の新設によって、上記の「授業の問題点」を根本的に解消することもできる。